

銀河レポート401

No. 40
9月号

発行日：平成30年9月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

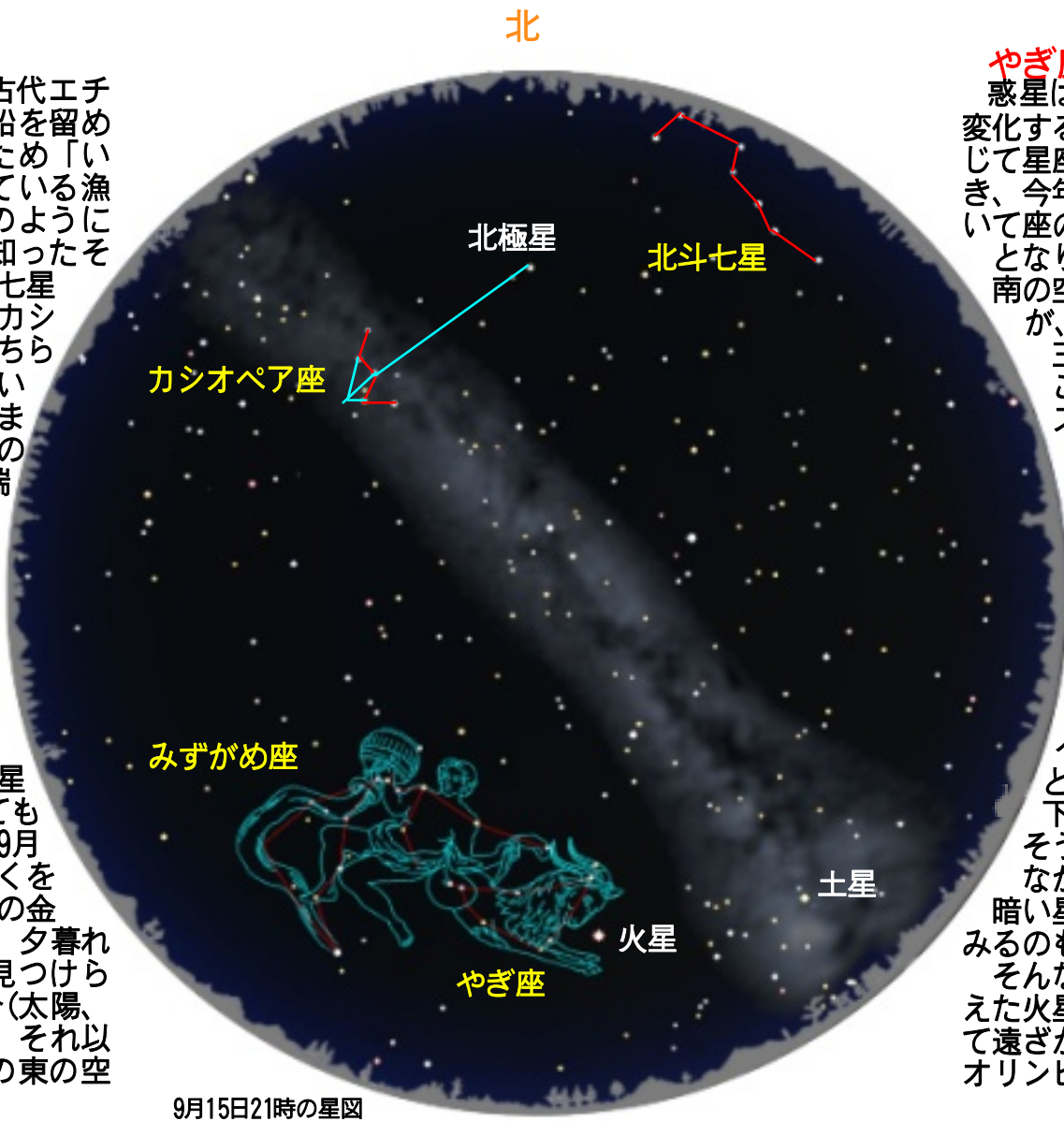
9月の星空

カシオペア座と北極星

カシオペアとは神話に登場する古代エチオピア王妃の名前です。日本では船を留めておくいかりに似た形をしているため「いかり星」といいます。昔、沖に出ている漁師たちは北極星を中心に時計の針のように回っているいかり星を見て時刻を知ったそうです。北極星を見つけるのに北斗七星を利用する方法が知られていますがカシオペア座を利用する方法もあり、どちらかの星座が北の空に見られますのでいつでも北極星を見つけることができます。カシオペア座をM字に見たときの2つの山の外側の両側の線を山の先端側に伸ばして交差した点と、W字に見たときの中央の山の頂点とを結んだ線を5倍に伸ばしたところに見られる2等星が北極星です。

明るい惑星が勢ぞろい

夏から秋にかけて、宵の南の空は明るい惑星たちが勢ぞろいしています。西から、金星、木星、土星、火星と1等星以上の明るさで輝くためともにぎやかです。また、それに加えて9月の中旬以降は月がその惑星たちの近くを通り過ぎていきます。「宵の明星」の金星は9月21日に最大光度となるため、夕暮れを待たなくても西の空で輝く姿を見つかります。また、10月中旬には、内合(太陽、金星、地球が一直線に並ぶ)になり、それ以降は「明けの明星」として明け方の東の空に登場することとなります。



9月15日21時の星図

南

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

やぎ座と火星

惑星は、時間とともに星空での位置が変化するので、それを利用して時期に応じて星座を見つける目印とすることができ、今年は、木星がてんびん座、土星がいて座の南斗六星を見つけるときの目印となりました。明るい星の少ない秋の南の空では星座を見つけにくいのですが、火星が9月～10月にやぎ座の逆三角形の中を移動していくので、この秋はやぎ座を見つけるチャンスです。やぎ座は上半身がヤギで下半身が魚の姿をしています。もとは牧神パーンで、神々が集まって宴会を開いているときに、この会に呼ばれなかったティフォンという気の荒い神様が怒鳴り込んできて、いろいろな姿に化けて逃げる神々とともに、パーンも姿をヤギに変えて逃げました。しかし、ナイル川を渡る時に魚に化けようとして慌てて呪文をかけたため、下半身だけしか変身できなかったそうです。そんなことを思い浮かべながら、南の空の逆三角形に並んだ暗い星々をながめてその姿を想像してみるのも楽しいかもしれません。そんなやぎ座を通り過ぎ、大接近を終えた火星は、11月にはみずがめ座を通過して遠ざかっていきます。次の接近は東京オリンピックの年の秋になります。

西

中秋の名月

今年の「中秋の名月」は9月24日です。この日は旧暦の8月15日にあたります。旧暦では7月、8月、9月が「秋」となり、8月15日は「秋の真ん中」であるため「中秋」と呼ばれます。この日のお月見に里芋をお供えする地域もあるため、「芋名月」とも呼ばれています。



今年の「中秋の名月」は満月の前日です。月が地球の周りを回る軌道が楕円であるために満月の日と少しずれるのです。

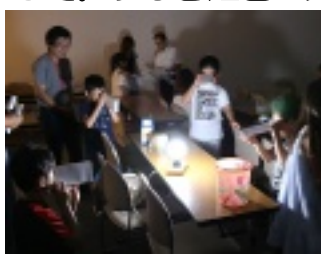
コズミックスクール～夏休みの自由研究～ 報告

昔はもっと星が見えた!?～光害について調べよう!～

8月4日(土)に行われたコズミックスクールは、町の明かり等の人工的な光が夜空の星を見えにくくしている現状について学習し、街灯モデルを作成して光が空に漏れない工夫について考えました。また、星の数を数えることができる星空観察装置を作成して模擬観察をし、自由研究を進める方法も学びました。

夕日はどうして赤いの?～光のスペクトルを調べよう!～

8月18日(土)に行われたコズミックスクールでは、簡易分光器を作成して太陽光や蛍光灯等の光を観察しました。すると虹色の光の帯(スペクトル)が見られ、そのことから、太陽光は多くの色の光からできていることを知りました。その光が大気中を通り抜けるときに紫色や青色の光は散乱してはじかれ、夕方には昼間より長い距離を進むために、赤い光だけが地上に届くので夕日が赤く見えることを実験等を通して学びました。



開館25周年記念特別企画

爆笑プラネタリウム

星兄(ほしにい)こと田端英樹さんがユニークで絶妙なトークで大人から子どもまで笑いの渦に巻き込む爆笑星座解説ショーです。



日時：9月22日(土)
18時30分から
20時
(開場18時15分)

出演：星兄(田端 英樹)
場所：5階プラネタリウム
定員：140席(自由席)
料金：一席600円(前売り)



★★観望会★★

《博物館主催きらら号観望会》

- ①日時：9月22日(土)
内容：月と火星と土星を見よう
- ②日時：9月24日(月祝)
内容：中秋の名月を見よう
- ①②とも
時間：18時30分から20時
場所：博物館前市民公園

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です
※きらら号は出勤しません。

《天文ボランティア主催観望会》

- 日時：9月15日(土)
時間：19時30分から21時
場所：博物館前市民公園
内容：月と惑星を見よう

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です
※きらら号は出勤しません。

9月の月

3日		下弦
10日		新月
17日		上弦
25日		満月

編集後記

今年の夏は、記録的な猛暑に見舞われたり、異常な動きで大雨をもたらす台風に見舞われたりといつものハードな夏であったように感じました。夜空が雲で覆われる日が多く、せっかくの惑星ショーも十分楽しめませんでした。秋の空気を感じる頃になるとお月見が楽しみです。今年の「中秋の名月」は去年より少し早く9月に迎えます♪